

患者さんへ

「高齢者閉塞性大腸癌に対する治療成績の検討」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2010年1月より2030年12月までに湘南鎌倉総合病院外科で手術を受けた閉塞性大腸癌患者さん
2 研究目的・方法	人口の高齢化に伴い高齢者大腸癌症例は増加しています。高齢者では若年層よりも高度進行癌で発見されることが多く、癌が大腸の中で発育して管腔を塞いだ状態となる閉塞性大腸癌も多く見られます。閉塞性大腸癌は大腸が閉塞しているために炎症を合併していることや栄養状態も急激に悪化しているため合併症を併発し易いです。高齢者で合併症を併発すると顕著な生活の質の低下や手術死亡率上昇をきたしうる点が大きな問題です。そのため、手術前の減圧治療有無や手術術式や人工肛門造設の有無が治療成績に影響を及ぼします。この研究は閉塞性大腸癌での手術前の治療方法による短期成績や長期成績の違いを検討します。 研究の期間: 施設院長承認後(2024年2月予定) ~ 2035年12月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既に研究結果が公表されていた場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	年齢、性別、体重、検査所見、原疾患、術前治療有無、周術期成績、合併症、再発の有無、再発治療内容 等
5 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 藤井正一 湘南鎌倉総合病院 外科 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号: 0467-46-1717